

阿寒摩周国立公園における ゼロカーボンパークの登録概要

令和5年1月31日

美幌町経済部商工観光課



ゼロカーボンシティ（パーク）の実現

国が進める「2050カーボンニュートラル宣言」の実現

- ・ 令和4年 3月 2日 ゼロカーボンシティ宣言
- ・ 令和4年 6月 27日 阿寒摩周国立公園ゼロカーボンパーク登録

美幌峠レストハウスの取組

トレイルネットワーク×ゼロカーボン観光の推進

地域産材の活用とカーボンオフセットの取組



北海道美幌町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる平均気温の上昇、大雨や台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測され、本町においてもその影響と考えられる現象が頻発しており、その対策は喫緊の課題となっています。

2015年12月に採択されたパリ協定では、「世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて2℃未満とし、1.5℃までに抑えるよう努力する。」ことが国際的な目標として掲げられました。

また、2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書では、気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされ、さらに採択されたCOP26では、1.5℃の目標に向かって世界が努力することが正式に合意され、この目標を達成するための取組みが世界全体で加速化しています。

我が国では、2020年10月に「2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」が宣言されました。

さらには、北海道においても、地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な発展づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」が表明されています。

本町では、これまで公共施設への再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組、豊かな森林の適切な管理による二酸化炭素吸収量の最大限の活用などに取り組みを進めてまいりましたが、脱炭素型のライフスタイル、ビジネススタイルへの転換に向けた意識啓発など、さらなる地球温暖化対策に取り組む必要があります。今後、「美幌町地球温暖化対策実行計画」を見直す中で脱炭素社会に向かう本町の姿を位置付けてまいります。

先代から引き継いだ豊かな環境資源を積極的に大切に守りながら、「ひとがつながる、みらいへのたげ」をもちつくりながら、町民の健康増進の場と集いの場となつて、「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする『ゼロカーボンシティ』」を目指すことを宣言します。

令和4年3月2日

美幌町長 平野 浩司



美幌町の観光

レストハウスの紹介



H7.8

S44.6 美幌峠レストハウス完成



H14.7 北海道で76番目の道の駅として
「ぐるっとパノラマ美幌峠」登録



R4.4

レストハウス1Fリニューアル



美幌町の観光

レストハウスの紹介



スタンプラリー完走者が選んだ道の駅ランキング

H27～R2 景色がきれいだと感じた「道の駅」ランキング

6年連続1位！

R3～R4 再度訪れたい「道の駅」ランキング

2年連続1位！



トレイルネットワーク構想の推進

屈斜路カルデラ外輪山トレイルルート整備調査事業

美幌地区三町広域観光協議会の取り組み

- | | |
|----------|----------------------|
| H28年度 | 総会においてトレイルルート整備実現を承認 |
| H30～R元年度 | 調査、研修、視察ツアー事業を実施 |
| R2年度 | 調査道の大部分を整備 |
| R3～4年度 | 運用に向けた管理体制の協議 |



美幌地区三町広域観光協議会
屈斜路カルデラ外輪山トレイルルート
(令和4年12月現在)



- 凡例
- 国立公園区域
 - トレイルルート構想 (約22km)
美幌岬～津別岬間 (約9km)
藻琴山～美幌岬間 (約13km)
 - 笹刈り完了済
美幌岬～津別岬間 (約5.5km)
美幌岬牧場東側 (約2km)
藻琴山～美幌岬間 (約12km)
※既存作業道を除く
 - エスケープルート

企業の森林（もり）づくり

びほろ企業の森林づくり

美幌町の環境負荷低減の取り組みに対してご賛同いただいた方と連携して森林整備・保全に取り組んでいます。



ご清聴ありがとうございました

